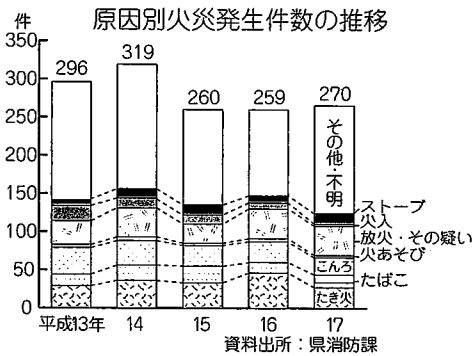
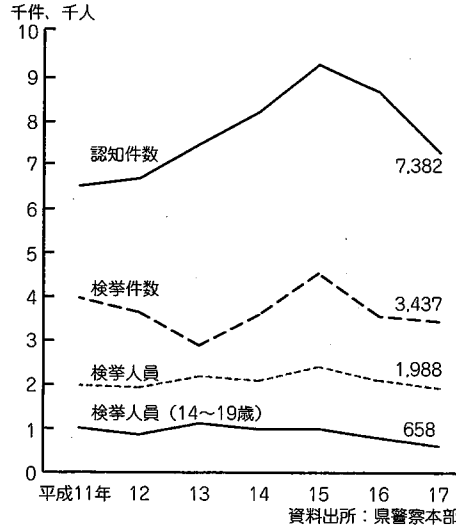


犯罪等に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
刑法犯認知件数(人口千人当たり)	12.2件	19	17.8件	17
重要犯罪検挙率	74.7%	12	56.0%	17
重要窃盗犯検挙率	57.1%	15	39.4%	17
火災出火件数(人口10万人当たり)	44.1件	19	45.3件	17

(注)重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ)重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり)とは治安情勢を観察する場合に、統計上の指標となる犯罪として得るものをいう。

刑法犯認知・検挙件数及び検挙人員



(犯罪)

平成17年の刑法犯罪認知件数は7,382件、検挙件数は3,437件、検挙人員は1,988人で、前年に比べ、認知件数は1,306件(△15.0%)、検挙件数は137件(△3.8%)、検挙人数は93人(△4.5%)の減少となっています。

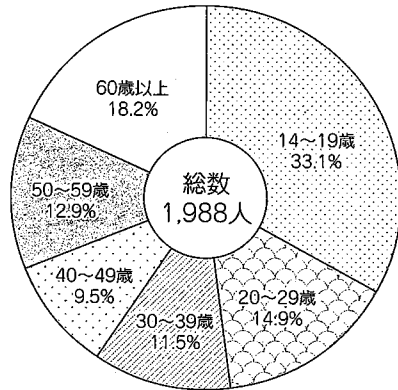
年齢区分別刑法犯検挙人員の割合を見ると、「14~19歳」(33.1%)が最も多く、次いで「60歳以上」(18.2%)、「20~29歳」(14.9%)、「50~59歳」(12.9%)、「30~39歳」(11.5%)、「40~49歳」(9.5%)の順になっています。

(火災)

平成17年の火災発生件数は270件で、前年に比べ11件(4.2%)の増加となっています。

出火原因別では、「放火(疑い含む)」が38件で一番多く、以下「たき火」(28件)、「ごんろ」(23件)、「ストーブ」(17件)、「たばこ」(16件)となっています。

年齢区分別刑法犯検挙人員の割合(平成17年)



犯罪認知件数の罪種別割合

年・区分	件数	罪種別割合					
		窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成15年	9,302	72.1	5.5	3.0	1.2	0.4	17.7
平成16年	8,688	72.1	6.0	2.7	0.8	0.4	18.1
平成17年	7,382	67.5	8.3	3.5	0.8	0.4	19.5

資料出所: 県警察本部

交通事故に関する主な指標

指標名	鳥取県	ベスト順位	全国	年次
交通事故発生件数(人口1万人当たり)	48.8件	6	73.1件	17
死者数(人)	66.4人	6	93.2件	17

(交通事故)

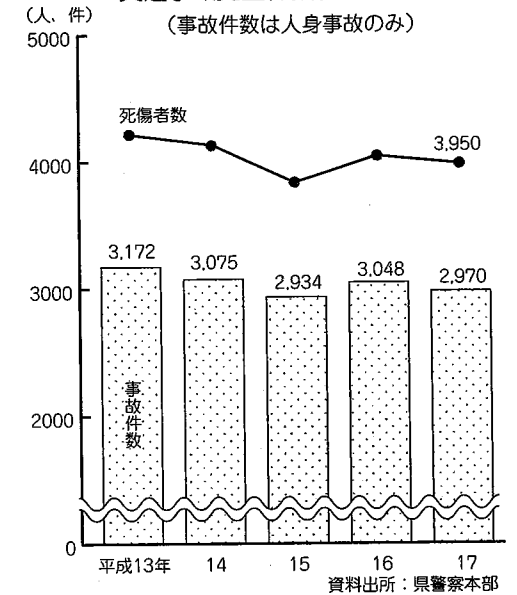
平成17年の交通事故発生件数は2,970件、死者45人、傷者3,905人で、前年に比べ、発生件数は78件(△2.6%)、死者は6人(△11.8%)、傷者は87人(△2.2%)の減少となっています。

(労働災害)

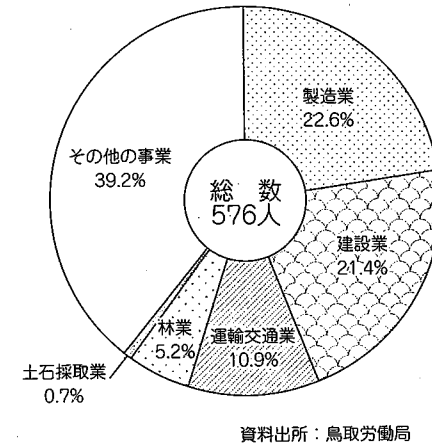
平成17年の労働災害死傷者数は576人で、前年に比べ11人(△1.9%)の減少となっています。

産業別に見ると、製造業(22.6%)が最も多く、次いで建設業(21.4%)、運輸交通業(10.9%)の順になっています。

交通事故発生件数及び死傷者数 (事故件数は人身事故のみ)

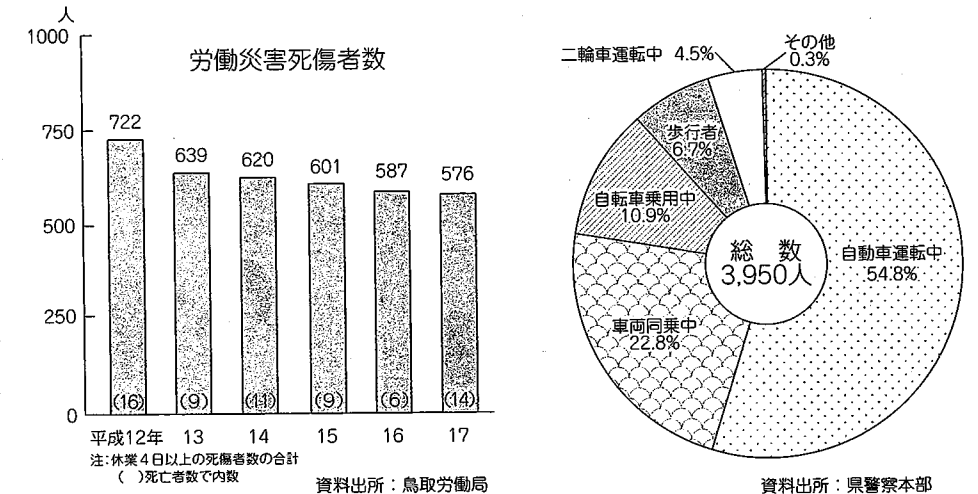


労働災害死傷者の割合(平成17年)



資料出所: 鳥取労働局

交通事故状態別死傷者の割合(平成17年)



資料出所: 県警察本部